

# 2024年度実施 大学入学共通テスト 国語 文字数を分析

## 昨年並みだが、速読解力は必須

2024.01.19

2024年1月13日、2024年度(令和6年度)大学入学共通テスト1日目が行われました。

国語は、文字数は昨年並み。出題意図が明確な問題が多かったものの、昨年同様複数の文章や資料を関連付けて答えを導き出す力が必要です。

全体としての難易度は昨年並みといえますが、表現力を問う問題も出ており、情報を整理してアウトプットする時間の確保のため、速く正確に読み解く力は必須といえます。



## 文字数は約24,135文字で、昨年並み

文字数は大問1 評論が約8,300文字、大問2 小説が約8,121文字、大問3 古文が約4,638文字、大問4 漢文が約3,076文字でした。合計は約24,135文字と昨年から約75文字増え、文字数が大幅に増えた昨年と同程度でした。

現代文は、昨年よりも文字数が約400文字減りましたが、マーク数は2つ増加しました。大問1・2ともに、本文が1つ、設問で本文に関連する文章が示される形式でした。大問2では、資料に基づいて教師と生徒が対話する形式で登場人物の人柄をとらえる問題が出題され、慎重かつ正確に読み解く必要があったといえます。

古文・漢文は、基礎知識を問う問題が昨年よりも増えました。大問3では、設問で本文の表現に関する現代語の文章が示され、描写や登場人物の人柄を読み取る問題が出題されました。大問4では詩と関連する資料4つが示され、それぞれを照らし合わせて解答する必要があった問5は、やや難度が高かったと思われます。

全体として、解きやすい問題は増えたものの、複数の文章や資料を速く正しく読み取り、情報を的確に処理する力が求められました。

### 2024年実施 大学入学共通テスト(国語)【問題構成】

(200点満点 80分)

大問	分野	出題	マーク数	配点	文字数	500文字/分で読んだ場合	1200文字/分で読んだ場合
1	論理的文章	渡辺裕『サウンドとメディアの文化資源学—境界線上の音楽』	12	50	約8,300	16分36秒	6分55秒
2	文学	牧田真有子『棧橋』 資料 太田省吾「自然と工作—現在の断章」	10	50	約8,121	16分14秒	6分46秒
3	古文	『草縁集』「車中雪」	8	50	約4,638	9分16秒	3分52秒
4	漢文	杜牧『華清宮』 蔡正孫『詩林広記』 程大昌『考古編』	8	50	約3,076	6分09秒	2分34秒
			38	200	約24,135	48分16秒	20分07秒

※SRJ調べ ※合計は、端数調整しています

## 原稿用紙60枚分の内容を読み解くためには時間配分が大切

試験では、解く時間や書く時間に約6割が必要と言われてい

ます。2024年度の国語の文字数は24,135文字で、原稿用紙60枚分です。日本人の平均読書速度は500~600文字のため、通常の速さで読んでいては解く時間が足りなくなってしまう。

制限時間のある試験では読書速度の違いによって時間配分に大きな差が生じます。

余裕を持って試験に取り組むためには、平均読書速度(1分間に500文字)の2~3倍が必要です。

大学入学共通テスト(2024年)約24,135文字(国語)

読書速度	試験時間	80分
平均速度 500文字/分 で読んだ場合	読む48分	解く32分
		不足16分

読む時間を短縮

受験に必要 1200文字/分 で読んだ場合	読む20分	解く48分	余裕12分
-----------------------------	-------	-------	-------

※試験時間の6割を解く時間として計算

※SRJ調べ

## 国語以外でも資料読解力が求められる

知識問題に加え、実験考察や資料解析など解答に時間を要する数学や理科でも昨年に比べて文字数が増え、特に化学は約2,785文字増加しました。社会でも文字数は多く、現代社会では19,000文字、世界史B・日本史Bでは17,000文字を超えており、平均読書速度(1分間に500文字)で読むと時間が足りません。また、世界史では、前の問題の解答に連動して正答が変わる連動型の問題が共通テスト本試験で初めて出題され、情報を結びつけて考えることが求められました。

国語以外についても、複数の資料から必要な情報を読み取り、習得している知識と整合することで正解を導き出す必要があり、読解力、思考力とスピードを兼ね備えた情報処理能力が必須となっています。

2024年実施 大学入学共通テスト 文字数

※SRJ調べ

教科		文字数	昨年比	マーク・解答数	試験時間	解く為に必要な時間	500文字/分で読んだ場合	1200字/分で読んだ場合
国語	国語	約24,135	約75増	38	80	48	48分16秒	20分07秒
地理歴史	世界史B	約17,154	約1,656減	33	60	36	34分18秒	14分17秒
	日本史B	約15,612	約1,898減	32	60	36	31分13秒	13分01秒
	地理B	約11,988	約612減	30	60	36	23分58秒	9分59秒
公民	現代社会	約19,673	約543増	31	60	36	39分20秒	16分23秒
数学	数学ⅠA	約7,525	約915増	47	70	42	15分03秒	6分16秒
	数学ⅡB	約5,484	約1,036減	54	60	36	10分58秒	4分34秒
理科	物理	約7,540	約360増	22	60	36	15分05秒	6分17秒
	化学	約11,675	約2,785増	31	60	36	23分21秒	9分43秒
	生物	約11,813	約1,977減	26	60	36	23分37秒	9分50秒
	地学	約8,172	約588減	27	60	36	16分20秒	6分49秒

## 2025年度からは国語で「実用的な文章」が出題される

2025年度の共通テストからは、新学習指導要領に基づいた出題となり「実用的な文章」が独立題として出題されます。

文部科学省の「高等学校学習指導要領」では、実用的な文章について「実社会において、具体的な何かの目的やねらいを達するために書かれた文章のこと」とされており、「ここでは、現代の社会生活に必要なとされるものを取り上げる」としています。これまでの共通テストでも、他の科目も含めて実社会に即した内容に関する出題は見られましたが、次年度以降は確実に出題されることになります。これまでの論理的文章、文学的文章、古文、漢文の対策に加え、「実用的な文章」の対策も行っていく必要があります。

### ✓まとめ

## 文字量は昨年並みだが、速読解力や表現力が求められる

- 国語の文字数は約24,135文字で昨年並み
- 理科や社会で文字数が増加。国語以外でも資料の読解力や情報処理能力が求められた
- 2025年度以降本格化する「実用的な文章」や実社会に即した出題への対策も必要

国語の文字数は分量が増えた昨年と同程度でしたが、理科や社会では文字数が増加しました。知識を暗記するだけでなく、習得した知識を活用しながら資料を速く正確に読み取る力、複数の情報を結びつける情報処理能力を身につけることを意識する必要があります。

また、2025年度からは、国語で「実用的な文章」が新たに大問として出題されます。他の科目でも実社会での生活に即した問題が出題されており、普段から日常生活や社会の出来事に目を向け、自分なりの考えや疑問、意見をまとめる練習をしておくことが大切です。